

つたざわ



〈学校教育目標〉
こころ豊かで
主体的に学び、
ともに高め合う
蔦沢っ子の育成

思いを伝え合えた六年生を送る会

～次のステージへステップアップ～

学校長

三寒四温という言葉通り、寒さの中にもやわらかな春の気配を感じる季節となりました。校庭の木々も芽吹き、準備を始め、プール横の梅の木は美しい白い花を咲かせています。子どもたちの一年間の歩みも、いよいよ締めくくりの時を迎えています。どの子も次の学年への進学・進級に向けて一生懸命に学びを積み重ねています。

先日行われた「六年生を送る会」は、体育館いっぱいに優しく感謝の気持ちがあふれる、心温まる時間となりました。会の副題を「六年生に感謝を伝えようプロジェクト」とし、これまで学校の中心となって活躍してきた六年生に、「ありがとう」の思いを届けようと、一年生から五年生は学年ごとに「出し物」の形で思いを表現しました。良い「出し物」にするにはいくつかの条件をクリアしなくてはなりません。まず、一番大切なのは、「六年生が楽しんでくれる内容」だということ。次に、「見ている他の学年の子たちも楽しめるもの」であること。さらに付け加えると「六年生のこの一年間の活動に関係のある内容」であること。各学年に与えられる時間は一〇分程度と限られているので「時間内におさめる」ということも大切な条件です。各学年ともにアイデアを出し合い、担任の先生にアドバイスをもらいながら練習を重ね、趣向を凝らしたクイズやゲームを披露してくれました。学習発表会で学んだ表現力（四つの伝える）を存分に活かした「出し物」となりました。一つの学年が発表を終えるたびに体育館は温かな拍手に

包まれました。どの学年の「出し物」からも、六年生への真つ直ぐな感謝の思いが伝わってきました。

この送る会を中心となって支えたのが五年生です。企画・準備・会場設営・進行など、多くの役割を担いながら、「自分たちが次の学校のリーダーになる」という自覚をもって取り組みました。意見がまとまらず悩んだこともあったでしょう。しかし、互いの考えに耳を傾け、よりよいものを目指して話し合いを重ね、会を創り上げる姿は大変頼もしいものでした。当日の堂々とした動きからは、大きな成長が感じられました。この経験は、最高学年へと歩み出す大きな自信につながったことと思います。

六年生も入場の時からすでに立派でした。下級生の発表を笑顔で見守り、ときに大きくうなずきながら拍手を送る姿に、六年間の学びの積み重ねを感じました。一人ひとりのお礼の言葉には、この会を開催してくれた一年生から五年生への感謝の気持ちが込められていました。運動会や学習発表会での真剣な表情、縦割り活動で下級生に優しく声をかける姿。六年生は様々な場面で手本となり、学校をよりよい方向へ導いてくれました。その背中からは、しっかりと下級生の心に刻まれていると思います。

「送る会」は、六年生に感謝を伝える場であると同時に、一人ひとりが自らの成長を振り返り、次の学年への一歩を踏み出す機会でもあります。人のために力を尽くすことの喜び、仲間と心を合わせるこの大切さを一年生から五年生の子どもたちはこの行事を通して学んだことでしょう。六年生から受け取ったバトンを大切に、さらに温かく力強い蔦沢小学校を築いていってほしいと思います。

六年生はいよいよ二十四日に卒業の日を迎えます。本校で培った思いやりの心、責任感、挑戦する勇気を胸に、それぞれの新しい道を自分らしく歩んでほしいと願っています。

保護者・地域の皆様には、この一年間、本校の教育活動を温かく支えていただきましたことに心より感謝申し上げます。子どもたちの成長は、家庭や地域の皆様のご理解とご協力なくしては語れません。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。春は別れと出会いの季節です。一日一日を大切に、感謝の気持ちを胸に、今年度の締めくくりに、感謝の気持ちを持ってまいります。

ありがとうございました

株式会社フジ様より、卒業製作用として、木製フレームを提供していただきました。卒業生にとって、とてもよい記念となりました。ありがとうございます。



オオスナグループ様より、児童の健康増進と健全な育成のために、ボールや縄跳びなど、たくさんのおスポーツ用品を寄付していただきました。有効に活用させていただきます。ありがとうございます。



3月の行事予定

- 18日(水) 卒業式リハーサル
- 19日(木) 給食最終日
- 20日(金) 春分の日
- 23日(月) 卒業式準備
全校終会 11:30
- 24日(火) 卒業証書授与式
全校終会 11:00
- 25日(水) 修了式
全校終会 11:00
- 26日(木) 春季休業開始



4月の行事予定

- 6日(月) 離任式 全校終会 9:30
- 7日(火) 着任式・始業式・入学式
全校終会 11:30
- 9日(木) 身体測定 全校終会 11:30
- 10日(金) 給食開始 全校終会 13:20
- 17日(金) 交通安全教室
- 21日(火) 内科検診
- 22日(水) 防災避難訓練
- 23日(木) 全国学力学習状況調査
- 24日(金) 授業参観日・PTA総会・学級懇談会
- 28日(火) 新入生歓迎遠足
- 29日(水) 昭和の日
- 30日(木) 家庭訪問開始



☆蔦沢小学校見守り隊の皆様へ

蔦沢小学校見守り隊の皆様、本年度も下校の見守り活動でたいへんお世話になりました。児童たちが大きな事故もなく元気に登校できましたこと、心より感謝申し上げます。本校の教育活動にとって、登下校時の安全は非常に大切なものと考えております。来年度も引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、校区で蔦沢小学校見守り隊として、見守り活動にご協力いただける方の募集をしております。蔦沢小学校教頭までご連絡をお願いします。

6年生 中学校での

『たのしみは』を短歌で

いよいよ卒業式が近づいてきました。それと同時に、中学校で始まる新しい生活に対して、不安を感じる気持ちと、楽しみな気持ちの両方が膨らんできています。そこで、中学校での楽しみなことを短歌に表しました。

また、「生きる」をテーマに、谷川俊太郎さんの詩に重ねながら、自分の思いを込めたオリジナルの詩を創作しました。

たのしみは バレーの試合で 点決めて チームで一番 活躍すること

たのしみは 新しい学校生活
真夏の中体育祭をするとき

たのしみは 何の部活に 入ろかなと いっぱいなやみ 決まった時

たのしみは 中学校の 友だちと たくさん遊ぶ 楽しみすぎる

たのしみは 人数増えた 教室で となりの人に 声かける時

たのしみは 中学校の 部活動

何部に入るか すぐ迷う時

たのしみは 中学校で 初めての

友だちつくって 話するとき

たのしみは 中学校で ある部活

野球部に入って みんなと勝ちたいな

たのしみは 中学校での 部活動

バレー部に入って 活躍したい

たのしみは 中学校から 人が増え

友だちたくさん つくれたとき

たのしみは 中学校で 卓球を

友といっしょに ラリーすること

たのしみは 中学校 人がいっぱい

友だち増えて 元気いっぱい



6年生 『生きる』とは

生きる

谷川俊太郎と6年生

生きているということ

いま生きているということ

それは仲間と喜び合えること

それは仲間とくやし合えること

それは仲間と成長できるということ

それは誰かが泣いているということ

それは風が吹いているということ

それは水面が揺れているということ

今もどこかで

誰かが笑っているということ

寝られるということ

いまご飯を食べられるということ

友達と遊べるということ

それは勉強ができていること

それはみんなと遊べていること

それはたくさん笑えていること

それは空が青いということ

それは花が咲くということ

それは鳥が鳴くということ

自然が私の瞳に美しく映るということ

今勉強ができるということ

今心臓が動いているということ

今歩けるということ

それは友達と楽しい話をするこ

それは楽しく遊ぶこと

それはぐつぐつとねむること

遊べるということ

いま呼吸できるということ

鉛筆で字を書けるということ

それはたくさん走れるということ

それはご飯を食べられるということ

それは好きなことをたくさんすること

みんなと遊べるということ

それはサッカーができること

それはバレーができること

ご飯を食べられること

今料理ができること

その料理がおいしいこと

ゲームができるということ

つまみ食いができるということ

友達と遊べるということ